

2023年度

科目名称	老年看護学実習（基盤：高齢者施設）
授業コード	BK271
英語名称	
学期	2023年度後期
単位	1.0
担当教員	山田 正己 (医療科学部), 大原 裕子 (医療科学部), 大西 奈保子 (医療科学部), 梅崎 かおり (医療科学部)
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	この実習では地域包括ケアシステムにおける介護保険施設やサービスについて理解するとともに、これらのサービスを利用する高齢者について多面的に理解する。サービスを利用するさまざまな高齢者とのコミュニケーションを通して、個別性に配慮したコミュニケーションスキルを身につける。実習を通して高齢者がより健康にその人らしく地域で生活するために必要なケアについて考えを深める機会とする。
科目に関連する実務経験と授業への活用	この科目は看護師として医療機関や高齢者施設で実践経験がある教員が担当する。
到達目標	この科目はディプロマポリシーにある「地域で暮らす人々の多様な文化、生活背景、価値観を尊重し、個人・家族および地域の健康レベルに応じた地域包括ケアを実践する基礎的能力を有している」をめざし、以下の4つの目標を設定する。 【実習目標】 1. 施設に通所または入所している高齢者の特徴を身体・心理・社会面から理解することができる。 2. 高齢者およびその家族の生活の質の維持・向上に向けた援助について考えることができる。 3. 高齢者の生活を支える施設の特徴と、保健・医療・福祉の連携の必要性を理解することができる。 4. 実習を通して高齢者のケアを担う看護師の役割について考えることができる。
計画・内容	【実習日程】 前半グループ：2024年2月5日(月)～2024年2月9日(金) 後半グループ：2024年2月19日(月)～2024年2月22日(木) 実習日程初日の午前中は学内オリエンテーションとし、午後より実習施設でのオリエンテーションを受ける。2日～4日目は臨地にて実習とする。 最終の金曜日はこの実習での学びをまとめ、学内の報告会にて発表する。 【実習施設】 通所介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、グループホーム、介護老人保健施設、介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)、等 【担当教員】 看護師として実務経験のある老年看護学の全教員で担当する。
授業の進め方	【事前学習について】 介護保険制度の復習および、各施設の概要について自主学習を行う。 【臨地実習について】 施設のオリエンテーションに基づき、さまざまな高齢者とコミュニケーションをとりながら、必要なケアの見学を行う。記録により自己の学びを整理するとともに、適宜カンファレンスを行い、他者の学びから自己の学びを深められるようにする。 【報告会について】 グループにて施設の概要やサービスを利用していただいた高齢者、実習で得た学びをまとめ、パワーポイントにて発表する。
能動的な学びの実施	この実習は積極的に学ぶ態度が求められる。実習の中で自己の課題を見つけ、知識を身につけながら実習を行うことが望ましい。カンファレンスやグループワークにおいては、自己の意見を積極的に発言しながら、他者の意見を取り入れる姿勢が求められる。

2023年度

授業時間外の学修	予習：3時間程度、事前課題を行い介護保険サービスや高齢者施設の理解、高齢者ケアについて学習する。 復習：3時間程度、実習後に施設の特徴や高齢者とのかわりを振り返り高齢者がその人らしく生きていくためのケアを探求する
教科書・参考書	老年看護学概論・老年看護援助論 で用いた教科書や資料を準備する。
成績評価方法と基準	実習評価表の項目をもとに評価する（100%）
課題等に対するフィードバック	臨地での実習では学びの振り返り等必要に応じてコメントを行う。 また報告会での発表の際にコメントを行う。
オフィスアワー	Campus Square 参照
留意事項	実習前にオリエンテーションを行うため、必ず出席すること。 感染症が流行する時期の実習でもあるため、自身や同居家族の健康管理に留意し、実習を行うこと。また自身が感染源とならないよう、体調に少しでも不安がある場合には速やかに担当教員に報告・連絡・相談すること。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	臨地実習が行えない場合は 動画教材等での学習、対面または非対面でのグループワークやカンファレンス等を中心とした学内実習とし、具体的なスケジュールや内容については別途事前通知する。成績は別途作成した評価表の基準に基づき評価する。